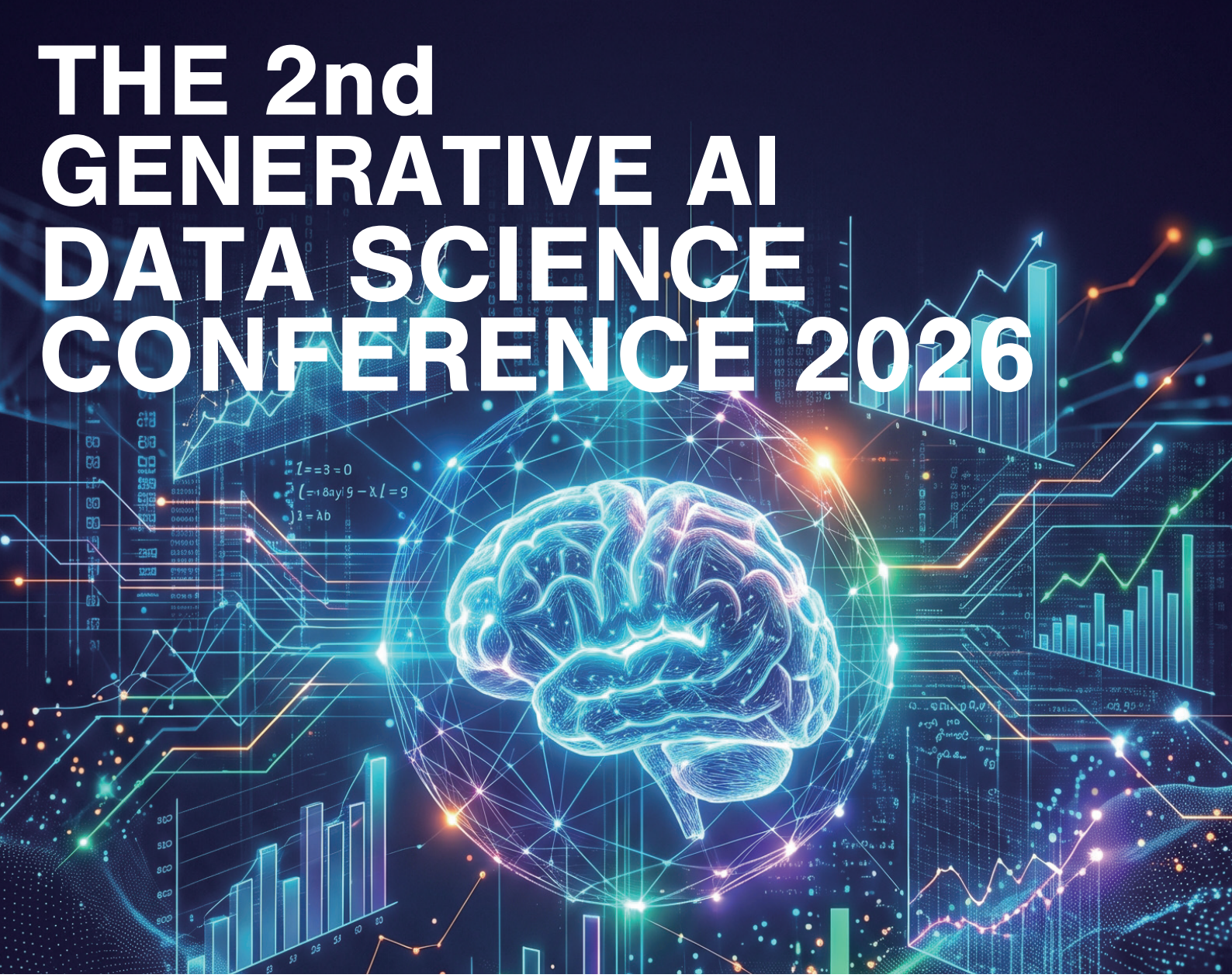
THE 2nd GENERATIVE AI DATA SCIENCE CONFERENCE 2026



開催概要

「AI for Science（研究開発への AI の利活用）」をテーマに、科学研究や教育・産業界における生成 AI の活用と人材育成の変容をひもときます。
大学教育や企業での実践例、法規制・ガバナンス、数学的思考を育む教材まで多角的に検証し、次世代の人材育成像を描きます。
未来を創るヒントと出会いが見つかるカンファレンスです。
この機会にぜひご参加ください。

対象

大学 / 研究機関 / 行政 / 企業のデータ活用企業の実務者、
人材教育担当者、人材採用担当者の方

お問い合わせ

株式会社 ヒューリンクス
TEL：03-5642-8384
Mail：ds-conf@hulinks.co.jp

主催：株式会社ヒューリンクス
協賛：株式会社アルゴグラフィックス

12/22（火）

13:00 ～ 17:00

参加費無料・事前登録制

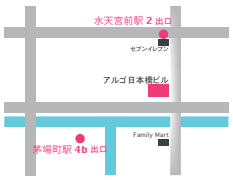
会場定員100名 / オンライン定員 200 名

来場者特典

① 講演発表内容の配布
② ヒューリンクス 40 周年記念冊子
「数学的思考テキスト」の配布
③ 交流会にご参加頂けます

会場

アルゴ日本橋ビル 2F
東京都中央区日本橋
箱崎町 5-14



TIME TABLE

11：00 ～ 13：00　開場 / 受付開始

13：00 ～ 13：05　開会挨拶

13：05 ～ 13：45



「大学教育と生成ＡＩ」

明治学院大学 情報数理学部長・教授 / 東京大学 客員研究員 / 工学博士
今井 浩　先生

「直感的応答」から「自律的に思考する長考型モデル」に進化した生成 AI の進化の歴史と最新事例を紐解く。将棋界等各分野の AI 受容の歴史が示すように、AI を「研究の相棒」として共創するプロセスを通じ、これからの大学教育・高等教育ひいては人材教育が目指すべき、人間主体の学びと研究の姿を多角的に考察する。
＜プロフィール＞東京大学大学院教授を経て、2024 年に明治学院大学情報数理学部の初代学部長に就任。2024 年に情報処理学会功績賞を受賞するなど、日本の計算機科学を牽引。

13：45 ～ 14：15



「生成 AI の活用と高大連携」

順天堂大学 数理・データ科学教育研究センター 特任教授
大橋 真也　先生

高校・大学間の数理教育の接続、大学における数理・データサイエンス・AI 教育と高校におけるデータサイエンス・AI 教育における生成 AI の活用の現状と問題点について解説する。
＜プロフィール＞高校や大学で 30 年以上にわたり数学・情報教育を行い，次世代の数理・データサイエンス教育に関わる。現在は，データサイエンス・統計学の基礎から医療等の社会応用，生成 AI を活用した数理教育及びプログラミング教育を担当。データサイエンスや AI に関する訳書や技術監修の書籍も多数。

14：15 ～ 14：35　休憩

14：35 ～ 15：05



「企業活動での生成 AI 活用と人材育成」

日本マイクロソフト株式会社 Technical Fellow, Evangelist
佐賀大学 理工各部 客員教授　畠山 大有　先生

企業における AI 活用、リスキリングについて紹介、解説する。
＜プロフィール＞日本マイクロソフト Cloud Senior Solution Architect 等で 25 年以上にわたり 300 社以上の IT プロジェクトでアーキテクト兼エンジニアを務める実践者。各種カンファレンス等で 400 回以上の基調講演やハンズオンを行い、AI 活用やクラウド技術をビジネスに実装する面白さをやさしく紐解く。

15：05 ～ 15：35



「大学における生成 AI 活用と実践（PBL-STEAM)」

宇都宮大学 データサイエンス経営学部 データサイエンス経営学科 准教授
坂巻 英一　先生

PBL-STEAM(現実の問いを教科横断的な知識で創造的に解決するプロジェクト型学習) の紹介／地方国立大学での連携事例、育てたい人材像などを紹介。PBL-STEAM で目指す人材育成の目標、現状の問題や課題、地域社会や大学間連携の問題点などを解説。
＜プロフィール＞宇都宮大学データサイエンス経営学部准教授。専門はマーケティングサイエンスや企業経営分析。ビッグデータや数理モデルを用いた消費者行動分析・経営戦略の立案を研究し、情報技術と数理統計を実際のビジネス課題に活かす実践的な手法を解説。

15：35 ～ 15：55　休憩

15：55 ～ 16：25



「生成 AI 時代に必要な人材と数学的思考」

実践女子大学 人間社会学部 社会デザイン学科 教授 / 博士（理学）
竹内 光悦　先生

生成 AI の活用が進む中、情報の適否を判断する「数学的思考」の育成の重要性が増している。本講演では、数学的思考を学ぶ契機となるべく作成されたテキストの紹介を交えて社会での活用事例を取り上げ、文系や数理分野が苦手な方にも学びのきっかけとなるテーマを紹介しつつ解説。
＜プロフィール＞鹿児島大学大学院修了。専門は統計科学。数学・統計を社会のさまざまな課題と結びつけ、問題解決に活用する研究・教育に取り組む。大学では、文系学生や初学者を対象とした統計・データサイエンス教育や、実社会の課題や実データを活用した問題解決型の教育を実践。

16：25 ～ 16：55



「生成 AI 時代の DS 教育　大学連携 e-Learning でのチャレンジ」

香川大学　情報化推進統合拠点 教授・副学長 ／ 博士（工学）
林 敏浩　先生

四国国立 5 大学によるオンデマンド型 e-Learning では近年、数理・DS 系科目が増加中であり、また香川県域では大学・高専が連携した DS 教育を推進している。本講演ではこれらの大学連携の実践を紹介し、生成 AI 時代の DS 教育とその積極的な活用について考察する。
＜プロフィール＞徳島大学大学院工学研究科修了。専門は教育工学、情報工学。佐賀大学理工学部を経て香川大学に着任。高等教育機関による e-Learning 連携において、教育デザイン・実践と情報基盤の整備・運用の両面に携わる。

17：00 ～ 17：50　交流会

17：50 ～ 18：00　閉会挨拶

講演内容や時間は変更になる可能性がございます